



## ●今回の質疑ポイント●

春闘で賃上げの動きがある中、中小企業ではその実感が得られているでしょうか。郡山りょうは、中東情勢の影響や、賃金データが個人情報として扱われ共有が進まない実態を取り上げ、現場の課題として質疑を行いました。

## ●春闘による「賃上げ」と「格差」について

春闘は3年連続で5%超と高水準ですが、その一方で大手と中小の格差が拡大しているのではないのでしょうか。

大手を中心に高い水準が続いていますが、その成果を中小企業や地方にも波及させていくことが重要な課題と認識しています。

中小では目標に届かない企業も多く、すでに中東情勢等による資源価格高騰などで交渉環境も厳しいという現場の声も聞いています。労働組合の有無によって賃上げに差があるなど、組合の役割が大きいと考えます。政府における労働組合の認識を伺います。

**労働組合の皆さんの社会的な役割というのは、非常に重要だと考えております。**

労働者の皆さんが働きやすい環境をつくる、労働者の視点を社会に届ける、という意味でも重要な機能を担っていると考えています。



郡山りょう



上野大臣

重要◎

上野厚労大臣から、「労働組合は重要」と答弁を引き出すことができました◎  
労働組合の活動の後押しになる重要な答弁です！

## ●中東情勢による資源・医療現場への影響

中東情勢の影響でナフサやヘリウムなどの供給不安が生じており、医療現場への影響も懸念されています。現場では納期遅延やコスト増も発生していますが、現状認識と対応を伺います。

現時点で供給が直ちに途絶える状況にはありませんが、企業と連携し状況を確認しています。あわせて補助金や診療報酬での対応、不測の事態への備えも検討しています。

すでに現場には影響が出ており、医療機関の経営や地域医療への波及が懸念されます。医療提供体制を守る観点から、引き続き的確な対応を求めます。



郡山りょう



政府参考人

重要◎

「中東情勢に影響を受ける医薬品・医療機器・医療物資等の確保対策本部」設置と部会開催へと繋げることができました◎ **現場の声が政府の認識を変えました！**



## ●賃金データの開示問題について

賃上げを中小にも波及させるには、交渉が不可欠ですが、現場では賃金データや経営指標が開示されず、交渉できない労組も存在します。交渉の置いて、必要なデータにはどのようなものがあるか、認識をお聞かせください。

交渉に必要なデータは一概には言えませんが、企業の経営状況、賃金、物価、景気動向などが重要と考えています。厚生労働省としては、毎月勤労統計調査などの公的統計も含め、活用いただきたいと考えています。

しかし実際には、賃金データ等を提供しない企業も多く、“暗闇の中での交渉”になっているのが実態です。賃金データを個人情報として開示されない点について、個人情報保護法との整合性を含めた見解を伺います。

個人情報であっても、本人同意や共同利用により**提供は可能**です。また、**特定の個人を識別できないように加工した場合には、利用目的を定めていなくても共同利用できますし、統計情報にしてしまえば、規制対象外となる場合もあります。**

労使でこのような事実を知らないケースも多く、データがそろえば、適正な交渉や賃上げ原資の検討にもつながります。制度の周知と活用を強く求めます。



郡山りょう



郡山りょう



政府参考人

最重要◎

交渉の際に不可欠である『賃金データ等』の開示が可能であるとの力強い答弁を引き出しました◎**長年の悩みの解決**の糸口に！

### ● 今回のまとめ ●

今回の質疑では、**労働組合の重要性**を厚労大臣が認め、また、医療現場で広がる資源確保に関する**政府認識を修正**できたのは、大きな成果です。また、交渉の際に不可欠な『**賃上げ等のデータが公開可能である**』との答弁は、春闘で賃上げのために奮闘している組合の皆さんに**重要な答弁**です。



現場の**声**では**たらく**を変えよう

国会質疑の動画はQRから確認できます!!

